

下関市立しものせき水族館「海響館」 (公益財団法人 下関海洋科学アカデミー)

かいきょうかん
[山口県：活動期間20年]

水族館（海響館）における魚食の普及啓発に関する活動
(オープンラボ、特別企画展「美味sea水族館」)

来館者が自由参加できる 「オープンラボ」

開館当初から、来館者が自由参加できる学習プログラム「オープンラボ」を開催しています。オープンラボは下関市にある水産大学校との共同運営で、年間を通じて行う様々なテーマの一部が「食」のテーマとなっています。「比べてみよう！ゼラチンと寒天」「しょっぱい対決」など、実験を交え楽しく学べる体験を提供しています。また、煮魚を作り、食べながら魚の骨について学ぶ「煮魚教室」も好評を得ています。



オープンラボの様子

小学校、地域と連携した 海洋教育プログラム

地域の教育資源を活用した海洋教育プログラムを行っています。令和3年度は下関市の魚「フグ」をテーマに地元の小学校の単元として組み込み、「食」を含めた様々な内容で学びにつなげています。



海洋教育プログラムの様子

「食・資源」をテーマにした 魚食に関する特別企画展

水族館開館20周年の節目である令和3年には「食・資源」をテーマとし、魚食に関する特別企画展を実施しました。展示は「魚を食べる」という視点から、展示水槽内の魚のレシピ紹介のほか、映像、ハンズオン、においなど五感を刺激することで来館者が楽しみながら学び記憶に残る展示構成とし、広く来館者に魚に興味を持ってもらうきっかけを提供しました。



「食・資源」をテーマにした
特別企画展

水槽内の魚を使った
レシピを紹介



この活動は、水族館スタッフだけではなく、ボランティアや水産大学校、地域、小学校関係者の協力を得て実現しています。活動に関わった皆さんに心より感謝します。今後も水族館らしい魚食普及の活動に取り組みます。

下関市立しものせき水族館